

◆病院コンサートへの想い

健康が一番大切なものだ、心からそう思ったのは4年前のことでした。それまでの私はマラソンが趣味で、地元青梅マラソンをはじめ、ボストンマラソンにも出場するなど、健康には自信を持っていました。ところが4年前の9月、体調がすぐれず、病院で精密検査を受けると、耳を疑うような診断が出たのです。

「悪性リンパ腫」…、血液のガンの一種、命にも関わる難病でした。

もう好きな歌を歌えなくなるのか、不安な日々が続き眠れぬ夜に苦しみました。そんなとき、主治医のひと言が、私のくじけそうな心を支えてくれたのです。「三田さんが、この病気を克服することによって、同じ病気で闘っている患者さんの希望となるんですよ。歌手復帰を目指して、一緒に頑張りましょう！」その言葉を信じ、いままで応援してくれたファンのために、そして家族のために、病気に負けてはいけないと思いました。歌手活動を一旦休止し、治療に専念しましたが、抗がん剤治療は、想像以上につらく、苦しいものでした。

それでも病院関係者の方々の励ましに支えられて、2010年、歌手復帰することができました。およそ2年のブランクがありましたが、今年デビュー25周年を迎えました。

4月22日には、デビュー25周年記念コンサートを私の出身地、東京都あきる野市の「秋川キララホール」で恩師である作曲家・弦哲也氏を迎えて開催しました。

そして、25周年にふさわしい新曲「時よ…急がずに」とめぐり合うことができました。この作品は、作詞家・荒木とよひさ氏が亡き母を想って書いた渾身の力作で、披露するたびに皆様の心に響くのでしょうか、涙を流される方が沢山おられます。

いまは「時よ…急がずに」のタイトル通り、急ぐことなく多くの皆様の元に、この歌を届けたい…、それが歌手としての使命だと思っています。

ふたたび歌えることができるのも、医師や看護師の方々、病院関係者の励ましのおかげだと思っています。最新医療とともに、心のケアも病気に打ち克つ、ひとつの治療法ではないかと、我が身で感じた次第です。思い出すのは、病室の窓から夕焼けを眺めながら、ふと口ずさんだ童謡や昭和歌謡…。いつか健康を取り戻したときには、病気に苦しむ方々のために、歌で社会奉仕をしたいと心に決めておりました。

音楽仲間たちの賛同も得て、デビュー25周年の今年を新たな出発点として

「病院コンサート」を企画致しました。私の歌が、病気療養中の患者様やご家族の皆様の安らぎになっていただければと、ご提案させていただきます。

何卒、ご検討の上、ご採用賜りますようお願い申し上げます。



2012年10月吉日 三田りょう